

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-40 °C ~ +90 °C (95 %RH以下)	保存温度範囲	-40 °C ~ +90 °C (95 %RH以下)	
	電 力	-- W	特性インピーダンス	50 Ω (0 ~ 6 GHz)	
	使用ケーブル φ 1.32 (066)	RF-MF5013 (日星電気) A12B0733 (潤工社)		RF-MF50161 (日星電気) FWS5030 (ク ラ ベ)	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		—	—
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗	100 mA (DC or 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コンタクト 4 mΩ 以下	○	○
			外部コンタクト 4 mΩ 以下	○	○
	絶 縁 抵 抗	DC 100 Vで測定する。	500 MΩ 以上	○	○
	耐 電 圧	AC 200 Vの電圧を 1 分間印加する。 (漏洩電流 2 mA以下)	せん絡, 絶縁破壊がないこと。	○	○
	電 圧 定 在 波 比	周波数 0 ~ 6 GHzにて測定する。	VSWR 1.3 以下	○	—
	挿 入 損 失	周波数 -- ~ -- GHzにて測定する。	--- dB以下	—	—
機 械 的 性 能	単 体 挿 抜 力	φ 0.91 ^{+0.005} ₀ の鋼製ピンで測定する。	挿入力 --- N以下	—	—
			引抜力 1.5 N以上	○	○
	総 合 挿 抜 力	適合コネクタで測定する。	挿入力 --- N以下	—	—
			引抜力 --- N以上	—	—
	繰 り 返 し 動 作	500 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 中心コンタクト 6 mΩ 以下 外部コンタクト 6 mΩ 以下 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 振 性	周波数 10 ~ 500 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 98 m/s ² で 3 軸方向各 10 サイクル 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 衝 撃 性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。		○	—
	ケーブルクランプ部の 引 張 り 強 度	30 mm/分でケーブル軸をケーブル抜け, 断線が 発生するまで引張り、最大荷重を確認する。	最大荷重 30 N以上 (φ 1.32) 最大荷重 20 N以上 (φ 1.13)	○	—
環 境 的 性 能	温湿度サイクルの 耐 湿 性	温度 +25 ~ +65 °C, 湿度 90 ~ 98 %中に 10 サイクル (240 時間) 放置する。	①絶縁抵抗: 10 MΩ 以上 (高湿時) ②絶縁抵抗: 500 MΩ 以上 (乾燥時) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	温 度 サ イ ク ル	温度 -40 → - → +90 → - °C 時間 30 → 3 → 30 → 3 分を 5 サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩 水 噴 霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	VSWR 1.3 以下	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△0					
備考 RoHS適合品			承 認	TO. KATAYAMA	18. 03. 08
			検 図	TO. KATAYAMA	18. 03. 08
			担 当	NK. OOSAWA	18. 03. 07
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512 (対応規格JIS C 5402) を適用している。			製 図	NK. OOSAWA	18. 03. 07
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目		図 番	SLC-371619-00-00		
HRS	製 品 規 格 表		製品名	HRM-200-066WPJ4BN	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL323-0052-0-00	
				△	1/1